

平成 30 年度 京都市域地域医療構想調整会議（Dブロック会議）

の開催概要（第 4 回）（平成 31 年 1 月 25 日）の審議内容

開催日時

平成 31 年 2 月 22 日（金曜日） 14 時から 16 時まで

開催場所

京都府医師会館 3 1 0 会議室

出席委員

出席者名簿のとおり（33 名）

審議の概要

報告事項

（1）地域における各病院の担う役割について

- ・資料により、各病院から説明

<主な発言>

- ・医療法人十全会と医療法人新生十全会が合併し、医療法人新生十全会となることを報告。
なお、医療機能や病床配置等については従来の提供体制が維持される。

（2）各団体の在宅療養等に係る役割と今後期待すること

- ・発表により、各団体から説明

<主な発言>

- ・退院体制が取れていない中で、退院する問題がある。
→原因として、介護保険の審査が入院中に間に合わないため、受けられるサービスの目処がたたないということがある。
→急性期入院の場合、審査自体は決して間に合わないが、少しでも早く介護認定の申請をしていただけると助かる。
- ・退院できている患者でも服薬管理が出来ていないので、院内薬局でも対応したい。

- 医師への情報提供として、「訪問の必要がある患者」という項目を追加してほしい。
- 退院時カンファレンスに薬剤師がまだ入れていない。
- ・医・薬・看の在宅における連携について、看護師も服薬管理が可能で、退院時カンファレンスに薬剤師が入れていない。指導内容に差があると思うので、薬剤師の参画を進めるべき。
- ・伏見医師会としても、薬剤師との連携は強化していく。
 - 情報共有方法（様式）等の話を詰めていきたい。

（3）病床機能区分検討ワーキングの報告

- ・資料（別紙）により京都府から報告

（4）連絡事項

- ・今年度のブロック意見交換会は今回が最終回となり、3月に京都市域全体会議にてとりまとめて、報告させていただく。
- ・来年度以降も本会議は開催するので、今後とも御協力いただきたい。